平成20年7月1日改訂

新設計基準による港湾構造物の設計(港湾事業のみ適用)

本歩掛は平成19年度、新規断面設計を行うものから適用し、港湾・漁港請負工事積算基準(赤本)において、 歩掛が掲載されるまでとする。

尚、以下に記載してない検討事項歩掛は変更がないものであり、これまでどおりとする。

土質資料整理解析

1地点当たり

		直接人件費							
	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	備考		
粘性土		0.7	1.2	0.7	1.1(人/本)	0.6(人/本)			

波の屈折(エネルギー平衡方程式)

1断面当たり

直接人件費							
技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	備考	
	0.5	1.7	3.3	2.4	3.4		

港内波浪变形解析(高山法)

1断面当たり

直接人件費								
技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	備考		
		0.5	0.5	0.5	1.1			

レベル1照査震度(基礎入力波形の設定) 微動観測による

1断面当たり

直接人件費							
技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	備考	
	1.1	3.3	6.6	4.7	1.0		

[「]港湾空港技術研究所」にて設定する場合は計上しない。

レベル1照査震度(照査用震度の設定) 一次元地震応答解析FLIPによる

1断面当たり

	直接人件費							
技師長	技師長 ┃主任技師┃ 技師(A) ┃ 技師(B) ┃ 技師(C) ┃ 技術員 ┃							
	0.4	1.0	2.1	2.1	1.0			

円形すべり検討

1断面当たり

	直接人件費							
技師長	技師長 主任技師 技師(A) 技師(B) 技師(C) 技術員							
			0.3	1.0	0.8	·		

偏心傾斜荷重の検討

1断面当たり

	直接人件費							
技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	備考		
			0.3	0.8	0.5			

地盤の地震対応・液状化の判定

1断面当たり

	直接人件費							
技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	備考		
	0.5	1.0	1.9	1.7	0.7			

液状化対策工検討

1断面当たり

	直接人件費						
技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	備考	
	0.7	1.3	2.8	2.9	1.5		

地盤改良工法(深層混合処理工)

1断面当たり

	直接人件費						
技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	備考	
	0.7	1.9	5.1	4.8	3.1		

設計計算 防波堤

1断面当たり

直接人件費								
	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	備考	
コンクリート単塊式			0.6	2.3	2.3	0.9		
方塊・直立消波ブロック式			0.6	2.5	2.5	1.1		
ケーソン式		0.6	1.6	4.4	3.0	3.0		
セルラー式		0.6	1.1	4.1	2.7	1.9		
組杭・カーテンウオール式		0.6	2.4	6.9	6.9	2.7		

断面比較等の対象割合は現行のままとする。

設計計算 けい船岸

1断面当たり

			直接人	件費			備考
	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	佣石
コンクリート単塊式			0.6	2.6	2.6	1.1	
方塊式			0.6	2.9	2.9	1.4	
直立消波プロック式			0.6	2.9	2.9	1.4	
L型プロック式		0.6	1.0	5.7	3.0	2.5	
ケーソン式		0.6	1.5	4.7	4.4	3.7	
セルラー式		0.6	1.1	4.5	3.8	2.7	
桟橋式		0.7	1.9	5.7	5.3	3.3	
矢板式(控え)		0.7	1.7	5.7	4.6	2.9	
矢板式(自立)		0.7	1.0	5.1	3.8	1.1	

断面比較等の対象割合は現行のままとする。

設計計算 護岸

1断面当たり

直接人件費 技師長 主任技師 技師(A) 技師(B) 技師(C) 技術員 コンクリート単塊式 0.6 2.6 2.6 1.1 方塊式 0.6 2.9 2.9 1.4 直立消波プロック式 0.6 2.9 2.9 1.4 L型プロック式 0.6 1.0 5.7 3.0 2.5	
コンクリート単塊式 0.6 2.6 1.1 方塊式 0.6 2.9 2.9 1.4 直立消波プロック式 0.6 2.9 2.9 1.4	備考
方塊式 0.6 2.9 2.9 1.4 直立消波プロック式 0.6 2.9 2.9 1.4	伸写
直立消波プロック式 0.6 2.9 2.9 1.4	
「型プロック式	
ケーソン式 0.6 1.1 4.5 3.8 2.7	
矢板式(控え) 0.7 1.7 5.7 4.6 2.9	
矢板式(自立) 0.7 1.0 5.1 3.8 1.1	

断面比較等の対象割合は現行のままとする。

平成20年7月1日改訂

設計計算 地震応答变形照查二次元FLIP

1断面当たり

		直接人件費						
	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	備考	
重力式		2.4	5.5	10.0	10.9	3.7		
矢板式(控え)		2.4	6.3	10.8	11.7	4.0		
桟橋式(土留め;重力式)		2.5	7.5	11.7	13.3	3.7		
桟橋式(土留め; 矢板式)		2.5	8.0	12.6	14.3	3.9		

上記表における追加検討断面は、1断面あたり基本の50%とする。

維持管理計画書作成 (外郭施設)

1式当たり

		直接人件費					
	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	備考
重力式		1.2	2.6	5.8	6.2	4.0	
杭 式		1.8	4.0	7.2	7.5	4.4	
浮防波堤		1.8	4.2	7.7	7.7	5.9	·

維持管理計画書作成 (係留施設)

1式当たり

							1 10 11 10 1
		直接人件費					
	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	備考
重力式		1.2	3.0	7.5	7.6	5.5	
杭 式		1.8	4.5	10.8	11.0	8.1	
矢板式		1.8	4.3	9.6	9.3	6.5	
浮桟橋		1.9	5.5	13.8	14.2	9.7	

報告書作成

1式当たり

						「ルコルリ
	直接人件費					
技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	備考
	0.5	1.3	1.4	1.6	8.0	

照査

1式当たり

ı			直接人件費						
l		技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	備考	
	防波堤		0.3	1.6	1.6				
	岸壁·物揚場		0.5	1.9	1.8				
ſ	護岸		0.4	1.8	1.7				